

# 情報センターだより

## 平成29年度 手話奉仕員養成指導者研修会

9月24日(日)、青森県総合社会教育センターにて、手話奉仕員養成指導者研修会を開催し、33名の参加がありました。

昨年度の手話奉仕員養成指導者研修会に引き続き、社会福祉法人全国手話研修センター手話奉仕員養成講座モデル講師の堀康子氏、田中照代氏に講師をお願いしました。

今回は手話奉仕員養成講座(基礎編)を中心に学びました。午前は、テキストの概要と、実技指導のポイント、到達度を確認して次の段階へ導くこと、視覚教材を工夫して会話学習を深める等学びました。

午後のワークショップでは、3グループに分かれ、模擬指導

講師・受講者役を決め、指導方法を協議しました。模擬指導は第25講座を3つに分け各グループ30分ずつ担当しました。その後、指導について意見・感想を述べあい、ホワイトボードに板書、比較しました。また、各地域での指導について情報交換もできました。



「テキストの概要」  
堀 康子 氏→



「各講座の  
ポイントの説明」  
←田中 照代 氏

### 開講しました

#### ◆手話奉仕員養成講座

(入門編)

10月7日(土)

平成30年1月20日(土)



#### ◆手話通訳者養成講座

(通訳Ⅰ)

10月22日(日)

平成30年2月25日(日)



### ビデオライブラリー

#### DVD作品紹介

#### 耳をすませば



読書が大好きな中学3年生の月島雫(しずく)は、図書館で借りた本の読書カードにいずれも「天沢聖司」の名前があることに気づく。

ある日、学校のベンチに本を忘れた雫。取りに戻ると、そこには雫の本を読み見知らぬ男子が座っていた。

#### おかあさんの木



おかあさんには7人の息子がいた。戦争が始まり息子たちは次々に出征していく。

おかあさんは息子の代わりに7本の桐の木に向かい、「無事で生きているか?生きて帰ってこい」と、願いを込めて毎日語りかけるのだったが、やがてつらい知らせが次々に届く…。

マッサン総集編 前編

「Dear Mother  
〜縁は異なるもの〜」

1920年(大正9年)スコットランドで2年間ウイスキー製造技術を学んだマッサンこと亀山政春は、日本発のウイスキーを造るといふ夢の実現を目指し、新妻のエリーを連れて帰国した。だが政春の実家では2人の結婚に大反対。勤め先でもウイスキーの製造は株主総会で不承認となる。退職した政春は、国産初のウイスキー造りを目指す鴨居商店に就職し、ウイスキー造りに打ち込むが・・・。

マッサン総集編 後編

「LIFE IS AN ADVENTURE」

1932年(昭和7年)北海道余市に政春一家は引っ越した。ウイスキー造りの工場を建てるためだ。まずは地元のりんごジュースを作り資金集めを始めた。そして昭和15年。ようやく政春の夢だったウイスキーが完成

したが、売れ行きは芳しくなかった。会社は存続の危機に陥るが、売れ残ったウイスキーをすべて海軍が買い上げてくれることに。だがやがて第二次世界大戦が始まり、エリーは人々から敵視されるようになる。

THE歴史列伝

「そして傑作が生まれた」  
「スペシヤル」天下分け目」  
関ヶ原の戦いスペシヤル 第一部

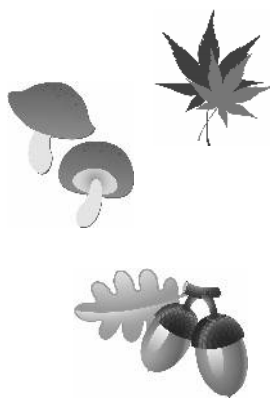
関ヶ原の戦いは、今から400年以上前の1600年9月15日、東軍・徳川家康(7万)と西軍・石田三成(8万)が、関ヶ原で対決した天下分け目の一大決戦だ。

秀吉の死後、天下取りに向けて着々と布石を打った家康。その家康を許せなかった三成。この2人が、全国の武将たちを巻き込んで戦いへと突き進んでゆく。



～ 11月の予定 ～

- ◆手話奉仕員養成講座〈入門編〉  
4日、11日、18日、25日(土)
- ◆手話通訳者養成講座〔通訳I〕  
5日、12日、26日(日)  
※5日は別会場：県民福祉プラザ
- ◆要約筆記者養成講座II  
5日、19日(日)
- ◆初めて手話を学ぶ方のための体験講座  
東青地区：会場 青森市浪岡中央公民館  
4日(土)  
西北五地区：会場 鶴田町公民館  
6日、13日、27日(月)



\*\*\*\*\*  
※講座等の詳細については、当センターまでお問い合わせください。  
TEL(017)728-2920  
FAX(017)728-2921  
\*\*\*\*\*

11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

□は休館日 開館 9:30~18:00